

平成26年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験問題

問1 次の日本の宝飾史に関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句または数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 日本人の装身具は「()時代」に登場したといわれ、素朴な耳飾りや首飾りが作られていた。
- (2) 「昭和()年」頃には、ジュエリーの大衆化へ向けて一般消費者が興味を持ち始めた。
- (3) 「ダイヤモンド及び()石」は1961年に輸入が自由化した。

問2 次のマネジメントに関する文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 生産管理のQCDとは「()」、「原価」、「納期」の3つである。
- (2) 生産の4Mとは「人」、「資材」、「設備」、「()」の4つである。
- (3) 作業管理の5Sとは「整理、整頓、清掃、()、しつけ」である。

問3 次の流通や商品に関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) マーケット・リサーチとは「()分析」のことである。
- (2) 定期的に受注のある顧客を巡回し、再受注を得る販売形態を「()セールス」と呼ぶ。
- (3) プロモーションは「()者」の需要を喚起させるための作業である。
- (4) 地域性を考慮した販売戦略を「()・マーケティング」と呼ぶ。
- (5) 製品を流通させるために構築する経路を「()」と呼ぶ。
- (6) 「()・リーダー」の理解する商品は口コミで消費者に伝播する。
- (7) 産業財産権は「()権」、「実用新案権」、「意匠権」、「商標権」の4つの権利で構成されている。
- (8) 製造物の欠陥により、生命や身体、財産が侵害されたとき、製造業者、輸入および販売業者が賠償責任を負う欠陥責任原則により、被害者を保護する法律を「()法」という。

問4 次の宝石に関する各文を読み()内に最も当てはまる語句または記号、数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 『クリソベリル』と『ベリル』は主要化学成分にベリリウムを含むことは共通しているが、異なる鉱物種である。アレキサンドライトは上記2種類の鉱物のうち()に属する。

- (2) 宝石の鉱物としての知識は、結晶構造、劈開、硬度などが宝石加工を行う上で重要である。()はモース硬度10であるが劈開がある為、加工の際には注意が必要である。
- (3) 宝石とは、一般に秀美性、耐久性、()の三要件を兼ね備えているものとされている。
- (4) 赤色の宝石をカボション・カットしたら、6条のアステリズムが見られた。この宝石名は()である可能性が高い。
- (5) 宝石は、生成起源により天然石と人工生産物に分類され、人工生産物の宝石は、さらに合成石、人造石、()石に分類される。
- (6) ダイヤモンドのクラリティーグレードはクラリティー特徴(キズや包有物)の大きさ・位置・数・色などを拡大倍率()倍のルーペ、および顕微鏡で観察して決定する。
- (7) フェルドスパーと呼ばれる長石類には、サンストーン、ムーンストーン、オーソクレス、ラブラドライトがある。このうち、アベンチュリン効果を持つ宝石は()である。
- (8) 無色からイエロー(ブラウン)のダイヤモンドはアルファベットの()~Zでカラーグレードの等級づけを行う。
- (9) 宝石に強い光を当てた場合に、表面に光学的特殊効果であるシャトヤンシーが浮き上がるのに最もふさわしい宝石のカット形状は()・カットである。
- (10) 宝石の鉱物としての知識は、宝石加工を行う上で重要である。モース硬度については水晶が7、コランダムが9である。これらの間である硬度8の宝石名を1つ挙げると()がある。

問5 次の貴金属に関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句または数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 融点が961.9、硬度が25~100HV、比重が10.50である金属は純()である。
- (2) 融点が1,064、硬度が25~70HV、比重が19.32である金属は純()である。
- (3) 融点が1,769、硬度が50~110HV、比重が21.45である金属は純()である。
- (4) スターリングシルバーは約780に加熱後、水中急冷し、その後2時間程度、約300で加熱することで、人為的に()硬化を起こすことができる。
- (5) 濃塩酸と濃硝酸の混合液である()は金やプラチナを溶かすが、銀を溶かすことができない。
- (6) 銀は水銀と接触すると()になる。

問6 次の商品アイテムに関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) パール・ネックレスの長さは、最も短いものから順にチョーカー、プリンセス、(a)、オペラ、(b)、ロングローブとなる。
- (2) プローチの安全ピン・タイプにはピンの受け金具の種類が2つあり、「(a)式」と「(b)式」と呼ばれる。
- (3) 腕、特に手首から肘までの間に装着する装身具を「(a)レット」、二の腕に装着する装身具を「(b)レット」と呼ぶ。

問7 次のデザインに関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 透視図法によって描かれた完成予想図を()と呼ぶ。
- (2) 透視図法で描く場合、「()点」と呼ばれる基点の数によって、「1点透視図法」、「2点透視図法」、「3点透視図法」に分かれる。
- (3) 色には「()」、「彩度」、「色相」という3つの要素がある。
- (4) コンピューターを利用した設計のことを英語表記の頭文字をとって「CAD」と表し、コンピューターを利用した製造のことを英語表記の頭文字をとって「()」と表す。

問8 次の宝石加工に関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 遊離砥粒は粒度ごとに個別に管理し、異なる粒度の()を避ける。
- (2) 艶出しに使う研磨材の種類には、「酸化クロム」、「酸化アルミニウム」、「酸化セリウム」、「()パウダー」がある。
- (3) 「ドップ()」はファセット・カットの際に、宝石素材をドップに固定するために使う接着剤である。
- (4) 研削砥石は「砥粒」、「空孔」、「()剤」の三要素で構成されている。
- (5) 宝石のバレル研磨はドラムに「宝石」、「研磨材 剤」、「研磨石 メディア」、「コンパウンド 界面活性剤」、「()」を入れ、回転、又は振動を与え続けて研磨する。

問9 次の貴金属加工に関する各文を読み、()内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) ヤスリ目の区分は目の粗い順に、「荒目」、「中目」、「()目」、「油目」となる。
- (2) ヤスリがけや地金取りの際に出る貴金属のクズは回収し、再利用のための()を行う。
- (3) 硼砂は金、銀の融解やロウ付けの融剤として用いる。878 で無色透明のガラス状になり、金属と空気の接触を遮断する()防止剤として機能する。
- (4) 重曹は弱()性で、貴金属表面の脱脂や酸の中和に使用できる。
- (5) 希硫酸を作る時は、先ず容器に()を入れ、その中に濃硫酸を静かに注いで作る。

平成26年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験解答用紙

問1		
(1)	(2)	(3)
縄文	40	色
問2		
(1)	(2)	(3)
品質	方法	清潔
問3		
(1)	(2)	(3)
市場	ルート	消費
(4)	(5)	(6)
エリア	チャンネル	オピニオン
(7)	(8)	
特許	PL または製造物責任	
問4		
(1)	(2)	(3)
クリソベリル	ダイヤモンド	希少性 (珍しいこと)
(4)	(5)	(6)
ルビー	模造	10
(7)	(8)	(9)
サンストーン	D	カボション
(10)		
トパーズまたはスピネル		

問5		
(1)	(2)	(3)
銀 または Ag	金 または Au	プラチナ または Pt
(4)	(5)	(6)
時効	王水	アマルガム または銀アマルガム
問6		
(1)		
(a)	(b)	問6(2)、(3)の(a)、(b) の解答は順不同
マチネ	ロープ	
(2)		
(a)	(b)	
鉄砲	風車	
(3)		
(a)	(b)	
プレス	アーム	
問7		
(1)	(2)	(3)
レンダリング	消失または消	明度
(4)		
CAM		
問8		
(1)	(2)	(3)
混合	ダイヤモンド	ワックス
(4)	(5)	
結合	水	

問 9		
(1)	(2)	(3)
細	精錬	酸化
(4)	(5)	
アルカリ	水	

受験番号	
-------------	--

得 点
1 0 0